

ふじがわ

6 月 号 昭和58年 6 月20日 発行

No. 2 6 3

町 の メ モ

昭和 58 年 6 月 1 日 現在	
人 口	16,974 人
増 減	+ 33 人
男	8,369 人
女	8,605 人
世帯数	4,359 世帯
面 積	31.09 km ²

富士川町 総務課



町の今年の目標
「笑顔であいさつ明るい町に」

今年もきつと

豊作だよ！

第二小学校（清堅司校長）の5年生124人が、6月10日（金）約540㎡の田んぼで、理科の稲づくり体験学習として、田植えを行いました。この田植えは、昭和55年度から続けられ、今年で4年目を迎えました。秋には、百数十kgのもち米の収穫が予想され、このもち米は、11月19日予定されている同校の「小車祭」の投げもちなどに幅広く使用されます。

田植えを行っている子どもは、「水がどろどろしているし、ひるがおよいでいるので気持ちが悪いが、田植えをしたことがないので、大変楽しく勉強になります」と話していました。

大平農道改良工事や 幸町・大楽窪線補修工事を主体に 4,977万円を補正

町議会の6月定例会は、6月15日(水)午前9時から開催され、常葉雅文町長の一般行政報告と望月好幼議長長の報告を皮切りに、一般質問一件、陳情二件、昭和58年度一般会計補正予算、町国民健康保険条例の一部を改正する条例についてなど七議案が審議され、すべて原案どおり可決されました。

一般行政報告

◎県企業局の富士川住宅団地造成事業について

中野の用地買収につきましても、みなさんのご協力を厚くお礼を申しあげます。未契約の人に対しましても、なお交渉を進めており、また持家の人との話し合いも個々の折衝に入っております。



婦人会も真剣に傍聴

本年度は、造成工事及び住宅用地促進道路の発注も計画されており、過日その一部を発注しました。

◎富士川橋の新設及び富士川・身延線道路改良工事の促進について

富士川橋の新設については、今回の災害復旧工事により、根固工事の一部実施され、また、諸般の情勢等から早急の実施は困難の様ですが、今後とも陳情等を行い、実施の促進を図ってまいりたいと思っております。

◎農林道の現況と将来計画について

林道小塚線も本年度で完成いたします。林道吉津金丸線とも接続し、松野地域と岩淵、中之郷の連絡道としても使用できま

農道改良工事、樹形富士川線横断水路改良工事など投資的業務を中心に四千九百七十七万円を補正、予算総額は二十五億七千四百七十七万円となりました。これに要する経費については、昭和57年度繰入金や寄附金をあてました。

◎都市計画道路について

岩淵小池下線の平面測量も終了し、現在計画を立案中です。本路線の計画決定につきましては慎重に決めるべく地元企業や地元のみなさんとの話し合い、また、都市計画審議会への諮問等を行い、今後の方針を決定していく所存であります。

◎青少年対策について

価値観の多様化した中で、物が豊富になってくる反面、心の豊かさの欠如が指摘され、こうした中で青少年の非行や問題行動の増加は、大きな社会問題となっております。

このような時、町民憲章にうたわれている念願する町民像の実現やことしの目標の達成に向けて、具体的に実践活動を展開していかなければなりません。

絡もでき、地域の発展に大いに役立つものと思われま。将来計画ですが、小塚線も完了いたしますので、公共林道工事として、松野地域に計画したいと思ひます。農免農道岩淵線の継続、基幹農道の実施計画等も十分検討していきたいと思ひます。◎都市計画道路について

- 二、有害図書追放
- 三、親と子がふれあう機会を深める事業の展開
 - 「家庭の日」を見直すための実践例の提唱
 - 親子で軽スポーツに親しんでもらう夜間照明施設のファミリー開放
- 四、家庭教育学級の各幼稚園、学校PTA単位の開設
- 五、地域(区)における総合教室の開設
- 六、学校における正しい基本的な生活態度の育成
- 七、健全育成に関する情報の提供及び啓発

補正予算の内容

総務費へ四十五万円
民生費へ五百五万円

衛生費へ三十万円
農業水産業費へ二千四百三十九万円

大平農道改良工事ほか
二千四百三十九万円

土木費へ七百八十万円

幸町・大楽窪線補修工事ほか
七百八十万円

教育費へ一千七百七十四万円

地区公民館補修補助金
三十万円

中央公民館建設基金積立金
百万円

同日、秋田県の方で大きな地震があった時、先生が授業の

富士川断層のうごきは、「地震」講演会開催

直前に地震予知が成功したならば、災害は最少限にいとめることができるというわけています。

当日では、地震予知のため二年前にわたり富士川断層の動きを光波測量によって、役場観測所他3カ所で測り続けている東大地震研究所恒石幸正先生と地震予知連絡会委員で同大教授の萩原幸男先生を招いて、6月13日(月)「地震」講演会を開催しました。



関東地方保護司連盟 会長表彰に 勝亦喜多郎氏



勝亦喜多郎氏 (清水町)

勝亦喜多郎氏(73)は、6月1日(金)静岡市民文化会館において開催された、第30回静岡県更生保護大会の席上、20年間にわたる保護司活動の功績により、関東地方保

ました。また、萩原先生は、地震発生地において、人工的に小さな地震を数多く発生させれば大きな地震は発生しないのではないかと話していただきました。「日本海中部地震」が発生して間もないために、約100人の出席者の関心は高く、恒石先生の報告や萩原先生の「地震コントロール作戦」の講演に、熱心に耳をかたむけていました。当日の参加者のうち最年少の佐野昌志くん(二小五年・富士見町)は、「先日、秋田県の方で大きな地震があった時、先生が授業の



佐野昌志 くん だから、ので、今日は一緒

護司連盟会長表彰を受賞されました。受賞にあたり同氏は、「保護司という仕事は、秘密主義なので家族の協力なしではなかなかむずかしく、まず、信頼関係を強く結んでいくことが必要です。一生懸命努力し、立ち直り、社会人として生活してあげることが一番喜ばしいことですが、また、偏見の目で見られることがつらいことです」と話していただきました。



やさしい心のお父さん

二小六年(南町二)岩窪牧さん

とても楽しくてやさしいお父さん。けれどもおこる時には、おつかないです。スケートやプールなどにつれて行ってくれます。お父さんはスキーやスケートをやっていると若く見えます。スケートも教えてくれるのでとてもうまくまりました。また、登山にいった時には高山病で気分が悪くなった私をせおいながら山を登ってくれました。

た。その時、とてもうれしかった。その時、とてもうれしかった。家には、作業着を着て畑仕事をしています。その作った野菜を、私たちは食べています。お父さんのおかげでいつもしんせん野菜を食べられます。

ほかに、お父さんは花が好きなので、庭にたくさんのお花を育てています。チョウも、うれしそうに花のみつをすいにきます。大きくなったら、お父さんと

シッしょにフィギアースケートをするのがゆめです。それまでは、若くいてほしいです。いつも、いつも、お父さんありがとう。

ぼくのお父さんは 笑わせもの

一小三年(新町)野沢信広くん

お父さん。よくはたらきます。あそぶときは、おもしろいことを言ってゲラゲラ笑わしてくれ

た。おこるときはあはれけど、とてもひょうきんだ。ときにはぼくの顔の前におしりを出して、大きい音のおならをします。ぼくは、きょうれつに「くさい」と言います。おもしろい。お母さんとけんかをするけど、やさしいところもあるんだと思います。ラジコンを会社へもって行って、ちゃんとなおしてくれれば、ぼくはゆめを見ているようにす



提言者 天野敏雄くん (舟山町)

ぼくのお父さんは、とてもやさしいです。だけど、おこる時にはとてもおつかないです。

しよにとりまします。ときどき、へびがでたりします。だけど、お父さんがおいはらつてくれるので安全です。山へ行くときは小さな道とおります。その道のななめの下はみかん畑です。ぼくは少しこわいから、そういう

家にいてつまらない時には、いつしよにトランプをやったりしてくれます。だけど、ものをこわしたり、

ときどき釣りに連れてつてくれます。なにをおしえてくれるかという、上下に糸をゆるすと釣れるとかをおしえてくれます。

春になると山へつれてつてくれ、さんしょうとか、ぜんまいわらび、たらのめなどをいっ

時はあまりしゃべりません。だけど、お父さんの運転はうまいから安心です。もつとやさしいときは、お父さんがつかれていて、休みたいときでも、サッカーの試合や練習の送り迎えをしてくれることです。そして、試合のあと家に

おにいちゃんたちにことばづかいがわるいと、とてもおこります。やさしいときにはとてもやさしくて、おこるときはとてもおつかないです。だけど、ぼくはお父さんが大好きです。

父は、あまり私たちには、「勉強しなさい」などとは言わないで、「友だちをたくさんつくて、人に好かれ、信らされる子になるように」と言います。

やさしくて、物静かな父です。それに、ときどきおもしろいことを言つて、家族のものを笑わせます。お父さん、これからも健康に気をつけて、元気に働いてください。

長いきしてね お父さん

一小五年(坂下)望月竜司くん



お父さんは、望月組の社長です。仕事をする人はみんな「もつちゃん、もつちゃん」といいます。仕事は鉄きんこわしやはしをこわしたり、山

世界の中にたった一人しかいない大切なお父さん。やさしくて、力強くて、わが家の大こくぼしらのようなお父さん。だから、ぼくは、お父さんをたいせつに

をくずしたりすることです。ほかにユニボにのつてあなを

持つています。仕事をすると夜おそくなりませんが、このごろは早く帰つてくるようになりまし

た。早く帰つてきてもお店にいます。時々、お酒をのんでおそくなる時もあります。仕事が休みの時は、魚つりをしたり、テレビをみたり、ぼくたちをどこかにつれていってくれたりしま

す。お父さんは、おこる時はこわいけど、おこることはめつたにありません。

してあげたい。

やさしく あそんでくれるお父さん

二小二年(清水町)渡辺まゆみさん

おとうさんは、いつもしごとからかえると、きがえてうんど

うをします。おわるとおふろにはいり、おふろで、きょうどんなことをしたかわたしにききます。たとえば、「きょうは、なにをしてあそんだ」とききます。ごほんのときは、ビールをおいしそにのみます。

日よう日には、かたぐるまをしたり、ぶらんこであそんでくれます。でも、わたしがわるいことをしたり、いうことをきかないときは、ゴリラみたいなおをしておこります。わたしのいちばんすきなおとうさんは、やさしくて、いつしよにあそんでくれるおとうさんで

父の思い出

小山 斉藤百代さん(38)

父は真面目で無口で、決して子どもたちに小言を言わない人でした。私の心の中に今でも彩やかに蘇る出来事は、15歳の頃陸上部に籍を置き、大事な大会を目前に連日暗くなるまでトレーニングに励んでいたある日の事です。夕食事、家に余裕が無いので物をねだつた事も無かつた私が一言「スポーツ祭に行つても他の学校の人は、私みたいに学校から借りた布のスパイクなんか履いてないよ」とぐちをこぼしたのでした。父はだ

まて食事をしていましたが、後「さてパチンコでも行つてくるか」と言つて出かけ、そして、ニコニコして帰宅し、「履いてみる、ぴったり合ふ」と思うけどな」と言つて靴の箱を私に手渡した

責任感のつよいお父さん

一小六年(堺町)渡辺三穂子さん

お父さんは、このごろとつてもいそがしそう。仕事の話し合いつか、学校のPTAの会合などでかけて夜は、だいたいというくらい家にいません。だから、夜おそく帰つてくるので、父の顔を見るということは、あまりありません。それに、なんでもたのまれると、断わりきれずひきうけてしまいます。たのまれたことは、無責任にやらず最後までしっかりやり通しま

す。

なつになるとふじのみやのしみんプールへかぞくぜんいんで、つれていってくれます。ときどき、わたしがけがをする

とてあてをしてくれます。わたしは、そういうおとうさんがだいすきです。

思いやりのあるお父さん

一小六年(木島)芦川美紀さん

私のお父さんは、大変思いやりのある人です。

たとえば、人いろいろなことをたのまれると、いやな顔をせず自分の仕事はあまわしにしてすぐ相談のつてやります。仕事熱心でどんなことでも熱中してやるりつばなお父さんで、畑仕事も朝早くからやり、私が起きる前からやっていることもあるがんだりやさんです。

役場へも時々行きとてもいそがしそう。勉強を見てくれたり、なわとびや、マラソンをやつたり、私のために共にがんばつてくれます。おこる時は、こわいけれど、ふだんはひょうきんなゆかいな明るいお父さん。大好きなお父さん。家族の



私のお父さんは、大変思いやりのある人です。

仕事がいそがしいお父さん

一中一年(宮町)太田正臣くん

ぼくの父は、仕事がすごく急がしくて夜などゆつくり話をする機会がありません。でも、いつもぼくや兄のことを思つていてくれ「勉強は、わかるか?」とか「野球の練習はどうだ?」と、声をかけてくれます。勉強ができなくてもあまりしかりません。テストで良い点を取つてくると、うれしそうな顔をしてくれるので、「今度もがんばろう」と思っています。けれど、約束を守らなかつた時は、すぐおこります。父は、サラリーマンですが、大変なようなので、ぼくは、将来有名になって親孝行をしたいと思います。

だから、それまで父にがんばつてほしいです。

ママさん記者が取材中

せきれいの会

てたい、という願いにより、昭和55年8月会員30人で誕生し、自主的な働きかけにより、静岡県「婦人の地域活動促進事業」に昭和55年度から3年間指定され、現在は、自主グループとして幅広く活動を展開しています。また、同会の名前は、町の鳥ハキセキレイVからつけられました。

同会は、月一回の定例会を中心に活動していますが、ここで年間の活動内容をみなさんに紹介します。

◎静岡少年鑑別所、静岡少年院視察訪問。

◎親子で見る映画会

◎有書図書販売機実施調査と廃止運動

◎父親との話し合いの会

◎親業訓練講座への参加

◎ミニ通信の発行

ちなみに、6月の活動内容は、町内4カ所に青少年非行防止の立看板を立てることです。

〈富士川地区〉

◎気をつけよう

非行は心の油断から

○もう一度

見つめ直そう行いを

(一 中学生作品)



太田さんを囲んでインタビューする広報モニター

〈松野地区〉
○摘みとって
互いに見る非行の目
○仲間の輪
互いのやさしい思いやり
(二 中学生作品)
最後に、太田さんは、これからも仲間を増やしながら勉強を続けていきます。お父さんもぜひ参加してくださいと話していました。希望者は、太田美美子さん(81-0507)へ
インタビューを終了し、外へ出ると一歩の運動場で、子どもたちが、ボールを追い歓声をあげているのが目に入りました。この子どもたちを非行のない健全な社会で育てなくては、そんな思いで見えていました。
(広報モニター 芦川由希子)

社会教育の自立 無形文化継承と義務

かつては物質的に貧しくとも心は優雅で豊かであった。寝しなに祖母が語る民話に空想と夢の世界を知り、唱歌が持つ詩情に心を動かされもした。こうした時流がくらしのテンポをつくり、このテンポが子どもたちの心の形成に合致していた。

かつては子どもたちの世界で華々しい普及をみえてきた幾種類遊びも、今や大人が懐古心を満足させる程度にしか行われないうちでいることは、ほんとうに寂しいことである。

メンコ、ビー玉、おて玉、竹馬等々、ひねもす遊び通し食事も忘れて夢中になったあの頃を彷彿とさせる姿はどこにも見当たらない。

こうした遊びの退潮現象は内容そのものが単純すぎるためなのか今の子どもたちの頭脳構造が複雑化したためなのか、原因となるものは定かではないが、我々の子ども頃の遊びは、日陰に押しやられていくことは周知の通りである。

この忘れられた遊びの中に、子どもを自立成長させるために欠かすことができない社会的、協調性、創意、工夫、寛容、忍耐といった精神的要素と体のバランスや調整力の養成という運動能力的要素が含まれていることを、私たちは改めて認識せねばならない。

今やマイコン、ラジコン、ゲームウォッチに代表されるように、コンピュータ時代だからといって、大人たちがそうした物を優先させてはならないし、こういう心のない機械との対峙のみで、子どもの柔軟な心を冷えた鮎物のように育ててはならない。私たちに、子どもの遊びに象徴されるように、時代とともに流されていく、くらしの中の無形文化の継承について真剣に考え合い、次代のために責任と義務をきちんと果たしていく必要があると思う。そして、地区のあちこちの小広場をはじめ、空地や庭先から、子どもの湧き上がる声が聞けるような時代の再来が待たれる。



広報デイスカッション 7月のテーマ 夏休み今年の計画



提言者 大石友紀くん (二小6年・南町一)

玉ねぎを二ヶずつ袋に入れながら、メニューはカレーライスだなと思いました。東京、大阪からも友だちが100人位きました。

去年の夏休みは、自分の心がとても大きくなったような気持ちがありました。母から座ゼンの会へ参加したらどうかと言われ、正座が苦手な大きなおしゃもじで肩をたたかれることが頭に来た。ぜったいにいやだと思いましたが、でも話を聞いているうちに楽しいことが一つありました。知らない人の中に入っ

て友だちを作りなさい、それだけでも参加した意味があると言われ、岩本の永源寺に二泊三日で行きました。もちものは、米、

今年の夏休みにも楽しみにしています。
(今月号では、紙面の都合上7月のテーマを、7ページに掲載させていただきます。)

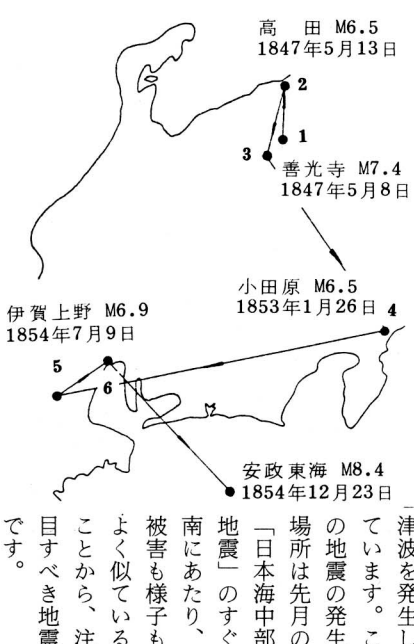
大地地震は突然に襲ってくるものか、それとも周囲から近寄ってくるものなのか。この問題を解くためには、昔の地震をふりかえってみることが有効です。東大地震研の宇佐美龍夫氏は古地震を調査して、理科年表や著書にまとめています。この資料をもとに日大の力武常次氏と県地震対策課の井野盛夫氏は、安政東海地震(一八五四年)にも先立つ地震の移動状態を明示し、これらの地震が次第に安政東海地震の震央に近づいてくるようだと結論しています。

資料・東海地震 ⑪ 東海地震に先立つ地震

東大地震研 恒石幸正

①の地震は善光寺地震として知られる大地震で、一八四七年に起こりました。五日後には、新潟県高田で②の地震が発生。③と④の地震は大した地震ではなく、安政東海地震の一年九ヶ月前に小田原で起きた④の地震が重要で、五ヶ月前になると、⑤の地震が三重県の伊賀上野で発生し、ついにマグニチュード8.4の安政東海地震となったというわけです。

範囲と期間をもう少し広げてみますと、安政東海地震の21年前、一八三三年に山形県沖の日本海にM7.4の地震が起こり、大津波が発生しています。この地震の発生場所は先月の「日本海中部地震」のすぐ南にあたり、被害も様子もよく似ていることから、注目すべき地震です。



戸籍の窓

S 58・5・1〜5・31届出

(敬称略)

おめでた

宮町	土橋さやか	克博	長女
松本美乃里	哲司	二女	小
町	杏奈	成樹	長女
遠藤真子	勇次	長女	旭
小野貴洋	清孝	長男	新
赤池優和	徹昭	二男	東町一
東町一	芳野将史	学	南町一
富士見町	神野芳彦	浩久	八幡町
八幡町	佐野雄亮	進一	清水町
清水町	吉田孝輔	誠	大北町
齋藤香織	武	二女	大北町

大北町	佐野梓織	静雄	長女
俵下町	朝比奈 誠	實	長男

お母さんの「知恵袋」
環境美化とごみ減量運動を推進するふよの会では、婦人会と連携して、今年もクリーンセンターの見学を行いました。三町から回収されたごみが町別に車ごと計量の後、一括投入選別・破碎と工程を経て、焼却炉で処理される様子を自分の目で見ますので大変参考になりました。いい加減な気持で出したごみは、ここにきて迷惑をかける事になり、分別はしっかりすべきを感じます。いかに最新鋭の設備でも、掃きよせの庭の小石までは灰にしてはくれません。むしろ破碎機の刃を損傷するだけで、それも四百万円というのですから驚きます。

富士川短歌会

五月詠草(天野寛選)

新町 深沢千代子
若き日に日蓮庵をむすばれし比叡の山に風花の散る

四十九 辻 すみじ
町議戦明日を自指して争へるす
るどき婦人の雄叫びの声

宮町 池田てい
心地良き風吹きくれば藤の花夫
臥す部屋に匂いくるなり

本通り 長橋安子
年々に君の庭より折り来しがさ
しきこでまりわが軒に咲く

相生町 長谷川ゆり
九十四歳の母御の手をとり並び
立つ君は初当選祝の席に

宮町 山田たか子
山門をくぐりて行くに奥深くつ
つじ並木と限りなき人影

新町 菊地信義
得票の速報を待つ控室電話機鳴
れば雑話すぐ止む

相生町 藤沼 満
春風吹けばざわめくこでまりの
しるじろ散り敷く月照る庭に

宮町 荻野敏音
初夏の暑き日光は新葉透かし蜜
相咲く下の吾に届きぬ

宮町 若月幸江
沢に添う畑に茶摘する人等一句
詠まむとす河鹿の声に

一里塚



この4月に役場の職員となつて、早いもので2ヵ月半が過ぎさうとしています。

学生時代の自由気ままな生活から規律正しい社会人として生活に慣れるのは大変で、責任の重たさを痛感しています。

環境衛生課に配属され、公害を担当していますが、大学では経営学を専攻していましたので、公害とは全く無縁で、自分に仕事が進まるものか不安でし

た。実際に仕事をしてみると、専門用語や測定器械など戸惑うことの連続でした。しかし、先輩方の丁寧な指導により、曲りなりにも仕事をこなしています。今は覚えることばかりで、自分の仕事を省みる余裕など全く無く、無我夢中で仕事をしている状態です。

一刻も早く仕事が何んたるかを理解できるよう、また、自信と誇りを持つことができるよう「公務員は、住民全体の奉仕者である」と言うことを胆に銘じ頑張っていきたいと思えます。

(望月 信洋)

町への寄付金(敬称略)

十万円 井上文庫へ

富士川製紙

善意銀行へ寄託

58・5・10〜58・5・21

一万円 八幡町 田辺 務
五万円 大北町 宇佐美治哉

町福祉協議会への寄付

58・6・7

八万円 新町 池内はる
八万円 相生町 小林安江
八万円 清水町 白井スミエ
八万円 本通り四 若月徳子